

Title: 「明日はどっちだ」



徳田 敬太
Keita Tokuda 1985年
生まれの食べか
り。世界という大海
へ向け、今、旅立と
うとしています。

● 最近のエントリー

- 📅 マレーシア 20
(2010.01.31)
- 📅 クリスマス
(2010.01.23)
- 📅 ペナン
(2010.01.10)

● アーカイブ

- 📅 2010年10月
- 📅 2010年09月
- 📅 2010年08月
- 📅 2010年07月
- 📅 2010年06月
- 📅 2010年05月
- 📅 2010年04月
- 📅 2010年03月
- 📅 2010年02月
- 📅 2010年01月
- 📅 2009年12月
- 📅 2009年11月
- 📅 2009年10月
- 📅 2009年09月
- 📅 2009年08月
- 📅 2009年07月
- 📅 2009年06月
- 📅 2009年05月
- 📅 2009年04月
- 📅 2009年02月
- 📅 2009年01月
- 📅 2009年12月
- 📅 2009年11月
- 📅 2008年12月
- 📅 2008年11月
- 📅 2008年10月
- 📅 2008年09月
- 📅 2008年08月
- 📅 2008年07月
- 📅 2008年03月
- 📅 2007年11月
- 📅 2007年10月
- 📅 2007年08月
- 📅 2007年06月
- 📅 2007年05月
- 📅 2006年10月
- 📅 2006年09月
- 📅 2006年08月
- 📅 2006年07月
- 📅 2006年06月
- 📅 2006年05月
- 📅 2006年04月
- 📅 2006年03月

● ブックマーク

学校法人 日本写真芸術専門学校
NIPPON PHOTOGRAPHY INSTITUTE



明日はどっちだ > 2010年01月 アーカイブ

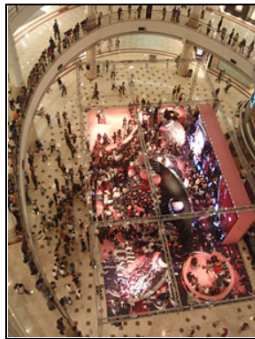
10.01.31

マレーシア 20

このブログの一人だけやたら長いアーカイブも
どうとう2006年から2010年の時を刻みました。
いやはや、時間とはなんぞや。
一体全体いつこんなに時間が経ったのでしょうか。。

もうさすがにKLを歩くのに地図は必要ありません。
この調子に入ってるのですが、
最近のKLでの悩み事が一つ。
カメラを持ってない時は誰一人として
外国人だの日本人だの分かってくれません。
なぜ。。

ちょっとはチャイナタウンとかマーケットとか歩いて
「お兄さん、お兄さん」 「ちょっと待って」
とか言われてもイムンですけどね。
現に日本人と共に歩く時は言われています。
自分を越した後の人へ向かって。
そんなにマレーシア人に見えるんでしょうか・・・。

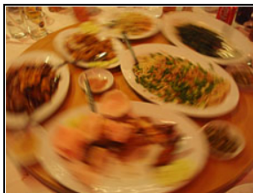




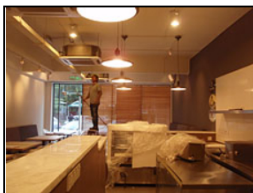
2009年の11月にマレーシア・アート・エキスポ 09というものがありました。たまにこういうのがあります。アートフェスタとか。内容は、日本やらアジア各国、欧州諸国のギャラリーの作家の作品が展示してありました。マレーシアからも、KL・ペナン・マラッカなどだから、ミャンマーの作家の作品とかなかなか見る機会はないであろう作品もあって、新鮮でした。95%は絵画、他に映像とか彫刻、写真が数点。その場で、そこに掛けられている作品を即売しててわりと売れてるみたいでした。



ブリティッシュカウンシルの前のクラス。
 このクラスにいた時に、ひょんなことからスピーキングクラブというものに入りまして
 週一で自分の国をプレゼンしよう。というやつでした。
 ベルギーとかイエメンとか名前を知っているけれど、どんな国がよく知らない。
 そんな人らも一緒にやって、いやいや、楽しかったですね。
 良いクラスでした。



たまに行くウォンさんやアンディさんの食事は
 いつもの自分で作る鍋スパイラルから抜ける唯一の道で
 しかも自分の料理とは違い、間違いなくおいしいです。
 こないだ連れてってもらったKLからちょっと離れたところはほんとに美味しかったですね。
 それと、KISSATENに新メニューが登場しました。
 前は裏メニューであった鍋とか、うな重とか、ポークステーキとか、とか。
 料理長曰く、いつも新メニューを考えてる。とのこと。
 これは、まだまだ新メニューが登場しそうです。期待しています。
 新しいメニューのほとんどは危うくお腹がはち切れるかと思いましたが
 とても美味しくほおぼらせていただきました。
 ありがとうございました！





最初はクリスマスが終わっても
一向に片付ける気配を見せない飾りにちょっとはかし不思議でしたが
We wish you a Merry Christmas and a Happy New Year
でも歌ってるように、日本とは違うんですね。

2009年12月31日はKLやマレーシアの至る所でカウントダウンしました。
紅白歌合戦もありましたが、せっかくなのでKLへ。
KLCCやブキピンタン、メルヂカスクエアでもイベントをやってます、
いったいKLのどこに、こんなにたくさんの方がいたの??
というくらいに見た事ない混雑。
マレーシア人や、旅行者やら、留学生やら。
人、人、人。
と共に、大音響の音楽。
そりゃKLCCの公園もライトアップしちゃいますね。





カウントダウンの数十分前から絶叫やら興奮の嵐。
 ひょーーーーー。ふぉーーーー。という裏声とともに
 シューーーー。っとあらいたい何でしょう。スプレーをかけ合っていました。
 そこの中にスプレーの空き缶が散乱し、
 スプレー売りの人も両手に少なくとも4本のスプレーを持って
 「スプレーはいらんかね。」と狂気の中を彷徨い売り歩いてました。
 そのスプレーは、というと。
 糸みたいな、泡のような、すぐ消えるんですけど、そんなかんじのスプレー。
 雑踏の中進み見ず知らずの人らとスプレーをかけ合う、視い争の掛け合いしてました。
 自分も、ふらっとその中へ入るやいなや
 ひょーーーーー。ふぉーーーー。と共に
 シューーーーっ！ もうそりゃ泡と糸だらけです。

5・4・3・2・1 !!! 2010!!!
 歓声。 スプレー。 花火。
 みんな HAPPY NEW YEAR!!! って。
 歓声。 スプレー。 花火。

そりゃもう、ここぞとばかりに満月の夜空へ向かって
 あっちでも、こっちでも
 シューーーーっ！

と、盛り上がってました。
 ちなみにこのスプレーから出るガスでしょうか、むせます。



ここはバビロンの前。
 さながら野外クラブのようです。
 みんなくねくね、ゆるゆると踊ったり、
 沸き上がる感情をそのままダンスにぶつけたような踊りで盛り上がってました。
 そんなかんじの満月カウントダウン09-10。



そして、これはバサル・セニ駅のグラフィティ。
去年もここに逢うのがあったのですが、どうやら年が変わると描き変えるみたいで
1月1日に、ざっ！とたくさんの人で描いてました。
でも、個人的には去年のが好きです。



この写真に写ってる人が誰だか分かったらマレーシア通ですかね。



マレーシアの首相といえば、マハティール首相がすごい有名ですが
この方は現マレーシアの首相のナジブ首相です。
KLCCの横をふらっと歩いてたりました。
おっ！ってやつです。
やはり地味にうれしいですね。
こないだマレーシア人の知り合いに自慢ときました。

そんなかんじに最近のマレーシア生活しております。
いつものように心身共に元気です。

2010年もよろしくお願いします。

PJ 徳田

post by 徳田 歌太 | 日時: 2010.01.31 | [バーミング](#) | [コメント\(0\)](#)

カテゴリ:

[明日はどちらだ](#) > 2010年01月 アーカイブ

10.01.23

クリスマス

新年・クリスマス休みはどこへ行こうやら。
せっかくだからキリスト教徒のところへ行って

南国のクリスマスが見たい。と探していましたところ
ひょんなことから、
ボルネオ島はサラワク州、クチンという町の近くの、
首狩り旅だった事で知られるビダユ族のロングハウス、バヤンさん宅へ行く事に。
KLに住んでいて、キリスト教徒という華人かインド系の人なので
マレー半島かと思っていたら、まさかのボルネオ。

なぜボルネオのサラワク州にキリスト教徒がいるのでしょうか。

昔、サラワク州はブルネイの統治下にありました。
1800年代にイギリス人探検家、
その名を「ジェームズ・ブルック」がサラワクにやってきました。
ブルネイからサラワクの反乱を治めるよう頼まれ、
鎮圧した後、彼はブルネイからサラワクの王に任命されました。
「白人王（ホワイト・ラジャ）」という称号です。
ちょっと疑問に思った事がある、
サラワクにはたくさん民族がありますが、元々の彼らの宗教はバガンといって自然崇拝です。
今、ホワイトラジャの影響で多くの人々がキリスト教に改宗しました。
しかし、以前はイスラム教の国家のブルネイに統治されていたので、
その影響でサラワク州の人たちがイスラム教に改宗してもおかしくなかったのですが、
多くの方は改宗しませんでした。なぜでしょう。
聞いたのですが、答えは分かりませんでした。。

そしてエア・アジアにて KL→クチン へ。



クチンから車で約1時間半。
村の名前は、カンボン・アナライース(Kampung Annah Rais)。

この村は ビダユ族 が住んでいて、数十メートルのロングハウスが3つ残っています。

サラワク州の人口比率は、
1ー華人 ・ 2ーマレー人 ・ 3ーイバン族 ・ 4ービダユ族 となっています。

宗教も
1ーキリスト教徒 ・ 2ーイスラム教徒 となっていて
この州は珍しくマレー人の人口が一番多くないし、
キリスト教徒が多いなんて知ってちょっとびっくり。
ここへ訪れる前は、民族は多様でキリスト教徒だけど
習慣とかがマレー人と似ているだろうと思ってました。
しかし、
そんなコトはまったくなく、彼らは全く別の習慣、歴史のあるビダユ族です。
まるで他の国へ来たかのような新しい文化に感じました。

ちょっと前まで、ビダユ族は ランダヤック(Land Dayak)ー 陸の民。
イバン族は シーダヤック(Sea Dayak)ー 海の民。
と呼ばれていました。
どちらも、首狩り族でした。今その習慣は残ってませんが、
ホワイトラジャの前の時代まで、村々には戦士がいて戦い合っていたそうです。



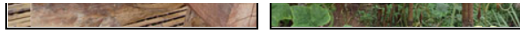
米のお酒（すごく甘い）



昔は砂糖を手に入れるのがとても難しかったそうです。
なので、写真左の物を使って自分たちで砂糖を作っていたそうです。

カボチャが地面じゃなくて宙に浮いています。
地面に作ると動物が食べてしまうから、らしいです。





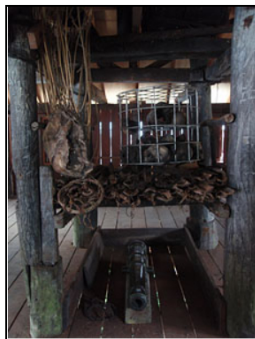
この村に残っているロングハウスは全て木と竹で作られた高床式です。
通常、外の床の竹は雨風にあたるため1年で全部新しくして、
雨があたらないところは2年に一回取り替えるそうです。
なんとも、大変ですね。
ちなみに、ビダユ族の家の造り、イバン族の家の造り、
他の民族の家の造り方はそれぞれ違います。

ロングハウスは民族の伝統的な家ですが、
そろそろこの時代です。
ロングハウスは修理も大変、強度も弱い。
そのため今では人々はロングハウス暮らしから、
セメントで作った個々の家へと移り住んでいます。
ホントに昔から続くロングハウスに行くには川を上り、森を抜け、
深く深くまで行かないと無いらしいです。



彼らは元々 戦士 でした。
ボルネオのダヤック族(ビダユとイバン)の戦士たちは
土地や交易の理由から1800年頃に首狩りの風習が始まったとされています。
山で出会った時や、結婚したとき
運を必要とする時にも、戦士たちは戦いに挑んだそうです。
その理由から、敵の侵入を防ぐ為に村々はもともと丘や山の上にあります。
白人王・ホワイトラジャがサラワクの王に就いてから
風習は薄れて行き人々は平地へと移動し村をつくりました。
このアナ・ライス村は1980年の戦士が戦後でした。

この村には昔、戦士たちが村を守る為に建てた建物
パンガ・バル(Panggah Baruk)が2つあります。
戦士たちは他の住居よりも少し高く建てられたこの建物から
夜番しながら村を守ったり、音楽を奏でたり踊ったりと儀式などを行っていたそう。
一つは近年建て替えられて、観光客たちが訪れやすくなっています。
昔は頭蓋骨が200個以上あったそうなのですが
割れたり、保存が大変で今では数十個だけです。



親族たちがクリスマス休みで会社が休みなので
この時期に結婚式が行われる事が多いみたいです。
今回も2つの結婚式がありました。





パイナップルが屋根に。



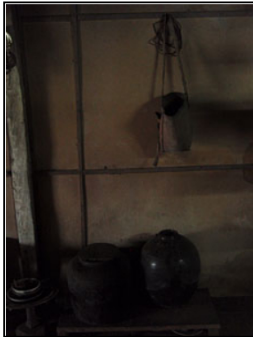
1959・60年にクチンから村まで道路ができてからすこぶる便利な世の中で昔は村からクチンまで川を3~4日かけて下っていたのに、今じゃ1時間ちょい。戻るときなんざ約7日。合計で往復約10日以上ですか。。遠かったですね。



昔の家の造り

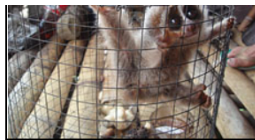


昔のタバコ



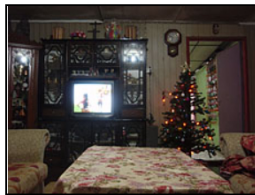
クリスマスの時期にアルバイト先で毎日毎日聞いていた音楽が聞こえてくると思いきや動物の絶叫。豚です。まさか豚があそこまで絶叫するもんだとは思ってませんでした。。クリスマスなので豚だったり鳥だったりたくさん食べるそうです。





クリスマスイブのミサ。

ミサはピダコ語で。



クリスマスの朝のミサ。

みんなちょっとおしゃれして、ぎゅちりとした格好で来てましたが
そんなこと予想もしてなかったので普段通りの服でここにいました。
泊まっていた家の家族は昔のバガン信仰よりもぜんぜんキリスト教徒でした。

若者が言うには
95%がキリスト教で5%くらいがバガンだそう。
でもバガンは彼らの伝統文化って言ってました。

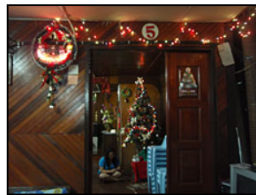
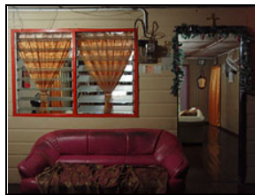


トカグのぎゅっいお酒です。
なかなかこの種のトカグはいないらしく、
見つけたら水に数日入れて不純物を出せるそうです。
それで、お酒に漬けて出来上がり。





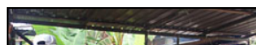
ご飯はマレーシア半島の米よりもおいしいです。
 どうだ、西マレーシアよりおいしいでしょ、米が違う。って。
 この葉っぱに包んだ調理方法は伝統的炊き方の一つ。

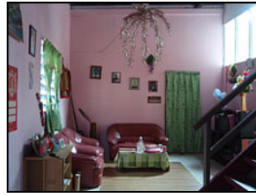


夜にバヤンさんの友達の家へ。
 マレーシアにいたいお酒はあんまり、な場所がたくさんです。
 が、ここは全くそんなコトはなく
 ちょっと飲んだら、また注がれ、またちょっと飲んだら、また注がれ。
 と熱帯気候でのクリスマスの飾りも新鮮ですが
 この晩酌もまたマレーシアでは新鮮でした。

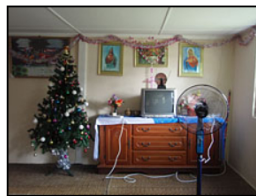
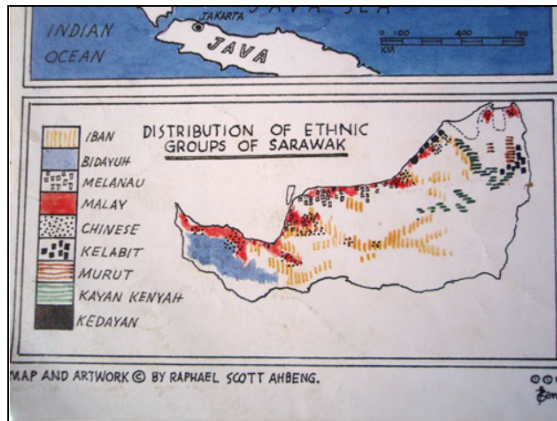


朝から結婚式の準備です。
 昨日いた鳥たちはすでに肉塊へと姿をかえ、ぐつぐつと煮られてました。
 豚の角煮くらい大きい塊で食べる事も全然ないので
 ちょっとうれしかったです。





スイス人のパオロさんの研究をバヤンさんが手伝ったらしく
本を持ってきて、そこからちょっと拝借。サラワク州の各民族のいる大まかな場所です。
マレー人と華人たちはやはりほとんどが海岸で、イバン族がいろんな場所にいるみたいです
ね。
民族はここに書かれている人たちだけじゃなく、他にもいくつかあります。



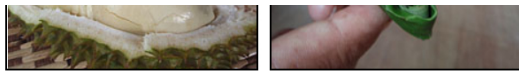
そして結婚式。
伝統的なスタイルでやる人もいれば、現代的なスタイルでやる人もいるそうで
今回の2つともドレスとか着てましたんで、現代派でした。
ご飯も村人にふるまってまして、
日本人が一人一組に並んで、
おーらおらとおっちゃんたちがご飯をどんこ盛りにして、すぐにお皿はいっぱいに。





生演奏をやったり、いろんなライトで照らしたり
 あら、ここはどこでした？
 ボルネオのロングハウスがあるトコじゃなかったけ？
 と思ってしまうような感じでした。
 みんなマレーシアの音楽に合わせて踊ってまして
 その踊りがなんとも素敵な踊りで。
 まさしく今の気持ちを身体でゆらゆらと表現する、そんなかんじで
 やたら楽しそうでした、素敵です。





ロングハウスはこんな感じになってます。
みんな座ってお茶したり、おしゃべりしたり。
バヤンさんと村を歩いてると、やたらみんな距離が近くて
ほらほら座って、座って。と一杯。
なんせみんな親戚みたいなものでそりゃそうですね。

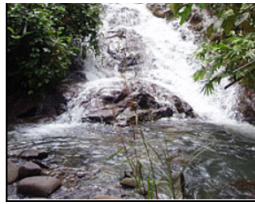


バヤンさんの畑へ。



畑には米があって
一つは日本と同じ水田で、もう一つは山の斜面に。
湿った米と乾燥した米があるって言うたので、おそらくその違いでしょか。
一見するとあんまりたくさん種類のなさそうですが
かぼちゃ、とうもろこし、バナナ、米、キュウリ、さとうきび
パイナップル、レモングラス、とうがらし、タピオカ、しょうが。
とたくさんです。
ちなみに、さとうきびはすごい甘くておいしかったです。

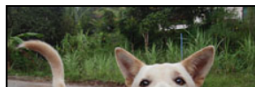




扇のようなやたらでっかい葉のある木にあったのは南国果物。
 ビタユ語でプルタン(Prutan)、マレー語でエンブラッ(Emplap)
 英語・日本語では分かりません。
 KLや他の場所でもこの実自体は見た事がなく
 彼ら曰く、ボルネオ特有の果物って言ってました。
 いったいこの果物はなんなんじゃよか。南国のフルーツの一つ？
 味はものすごく濃厚で、イチジクを数倍大きくして味を南国風に濃くしたかんじです。
 この大きさを2人だけで食べるのはキツイです。7人分はいけると思います。
 なんせ味がごっつりしてますんで。

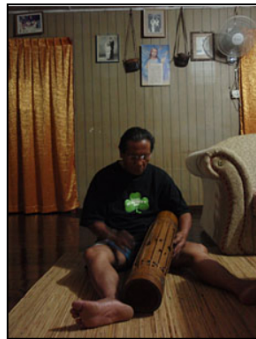


食虫植物もそこらへんにあります。





伝統的な、竹にご飯を入れて炊いたお米を食べさせてもらったり
収穫祭のランタヤックでやる鹿の舞の音楽を教えてもらったりしました。
竹で作った楽器です。



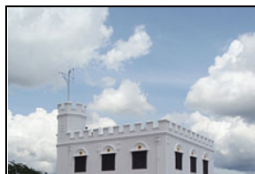
と、そんなクリスマスでした。
いつも、いつも楽しく泊らせてもらってうれしいかぎりです。
ありがとうございます。。



そして、ちょっとのクチン。

クチンはマレー語で 猫 の意味で
一年に一回猫祭りなるものがあるそうです。

マレーシアの半島の町はだいたい
マレー、中華、インドの町ですが、ここはもう一つ
ボルネオの民族の雰囲気加わっていて、ちょっと違いました。







そしてまたエア・アジアでKL→PJへ。



今回はすごく、すごく新鮮な旅になりました。
マレーシア半島とボルネオではあんなにも違うなんつぁ思ってもなかったです。
やはり現地に行かないと分からないことはたくさんですね。
んじゃ、サバ州もまた違うんだろう。どうなってるんでしょうか。

サラワクには今度また行きます。 あー、楽しみ。

post by 徳田 敬太 | 日時: 2010.01.23 | [パームリンク](#) | [コメント\(0\)](#)

カテゴリ:

[明日はどっちだ](#) > 2010年01月 アーカイブ

10.01.10

ベナン

先日、懐かしの島 ベナン島へ行ってきました。

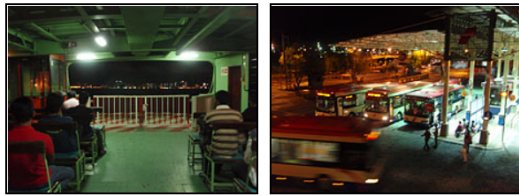
そう、あれはもう早いもので4年前の2006年。
FWでタイから鉄道にガタゴトと揺られて着いた東洋の真珠と呼ばれているらしい島。
あのときは4泊くらいしたんですけど、毎日若者らしくアクティブに動いてました。
ベナン島の道を全然知らないのに向かったバトゥフェリン半、浜です。
2時間で頂上と聞いて登ったら4時間近くかかって、
頂上に着いたらケーブルカーで数十分で登って来た仲間とはったりベナンヒル。
フェリーで半分無理矢理行って、絶叫ブリッジやら滝滑りをしたランカワイ島。
KLに行く時にみんな飛行機のチケットとってたの地味に知らなくて、
一人でKLに向かって施設に一番乗りした。とかとか。
と、あのころは体力ありましたね〜。いやいや、若かった。
しかし、
その話がもう4年前なんて時間は普通じゃなくて光速に近いんじゃないかなろうか、と思うこのころです。

昨年のいつかに、いつも使っているブドゥラヤ・バスステーションに
新しくきれいな待合室ができました。
そこから約6時間。→バタワースへ。



到着したらずでに夜が来ていました。
24時間バタワースとベナン島を繋いでいる便利で安いフェリーにてベナン島へ。
一回来ているとはいっても、あの時は街歩きをしなかったもので
土地勘は全くなく、初めて来た場所のように道は分かりませんでした。
でも、少し歩くとあら不思議。

このペナン(ショーンタワン)の街並みが他の町と比べ少し違つづを感じました。
貿易の歴史があり、昔の建物が残っているなど世界遺産に登録されるだけの場所だからでしょうか。
人口のほとんどが華人だからでしょうか。
何でかよく分かりませんが、ペナンはいいです。



またサイクリングで何となく行こうとしましたが、
そんな無茶はもうできなくなったのでしょうか、時間的のためバスにて
極楽寺(Kek Lok Si Temple)へ。
ここは1890年風水にて建立の場所が決められてから増築、増築、
今もまだ塗り続けているマレーシア最大の寺院。
渋滞ですごく時間がかりましたが到着。

ペナンはラクサという麺が有名です。魚を使った独特の香り味わいのピリ辛麺。



土産物のトンネル、そうあれです
我が地元の江の島の通りに2mmくらい似ているな、と感じながらぐり抜け
向かった先は極楽寺。
現代風な仏像がたくさんありました。
お参りに来るのは華人だけではなく、
インド系の人たちもこのお寺へお参りに来ます。





お寺の奥に仏塔があるのですが、お寺の全貌とベナンの町並みがちょっと見れます。
何段式なのか分かりませんが、6・7段はあるかと。
各段に金やら白やらの仏像がたくさんあります。





右上の写真によりますと、ここは開山118年ですか。
 今もほんとにたくさんの方がお参りだったり、観光に来たりしています。
 右下のは数十メートルはあるつい最近出来た新しい仏像です。

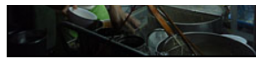


数年ぶりに同じ場所に来るのは楽しいですね。
 主立った思い出は思い出しやすいのですが、
 その時のかすかな記憶さえもそこに見えるかのように扉を開き鮮明に蘇ります。
 あ、このレストラン行った。とか、この道歩いた。
 そういえばここはあれだ、などなど。
 懐かしいの一言につきます。
 もしかしら、FW1の人はこの街並や湖に見覚えがあるかもしれないですね～。



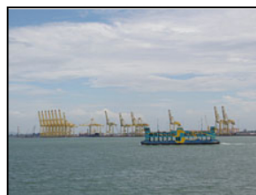
125ccのバイクのレースを快音をたてながらやりました。
 ペナンではこういったイベント多いんでしょうか、
 KLもモリイベントありますが、レースのイベントなんか見た事ないですね。





やたら目立つこの建物は、
 いろいろな種類のお店やら会社やらが入った60階建てのコムタです。
 昔はここで日本のお菓子を買って、日本のお菓子ミニパーティーしました。
 うわっ！日本のお菓子だ！！
 今はあの初々しさが新鮮で、ちょっとこなれてしまったかもです。

歩いたところはジョージタウンといってフェリーの発着場からすぐの街です。
 多くの建物が新しいマレーシアの建物群になっていますが
 いくつかはまだ昔の香りをほのかに感じさせてくれます。



と、そんな懐かしんでたらもう帰る時間です。
 今回のペナン島旅行は、お寺に行きに行きたかったみたいになってしまいました。
 それもそのはず、ペナン島は見所がいくつかあって
 全部回るのにはちょっと時間を要します。今回は我慢です。
 また機会があったら行ってきます。





カテゴリー:
post by 徳田 敬太 | 日時: 2010.01.10 | [パナマリンク](#) | [コメント\(1\)](#)